



# ATA

## 一般社団法人 愛知県トライアスロン協会

### 2019年度 定時社員総会

2020年6月28日（日） 10：00～

フジコミュニティセンター

（名古屋市中村区黄金通一丁目18番地）



愛知県トライアスロン協会



## ◆議長挨拶

## ◆事務局報告

- ・定足数の確認
- ・議事録署名人の選出

## ◆審議

- 議題 1 : 2019年度事業報告
- 議題 2 : 同 決算報告
- 議題 3 : 2020年度事業計画（案）
- 議題 4 : 同 予算（案）

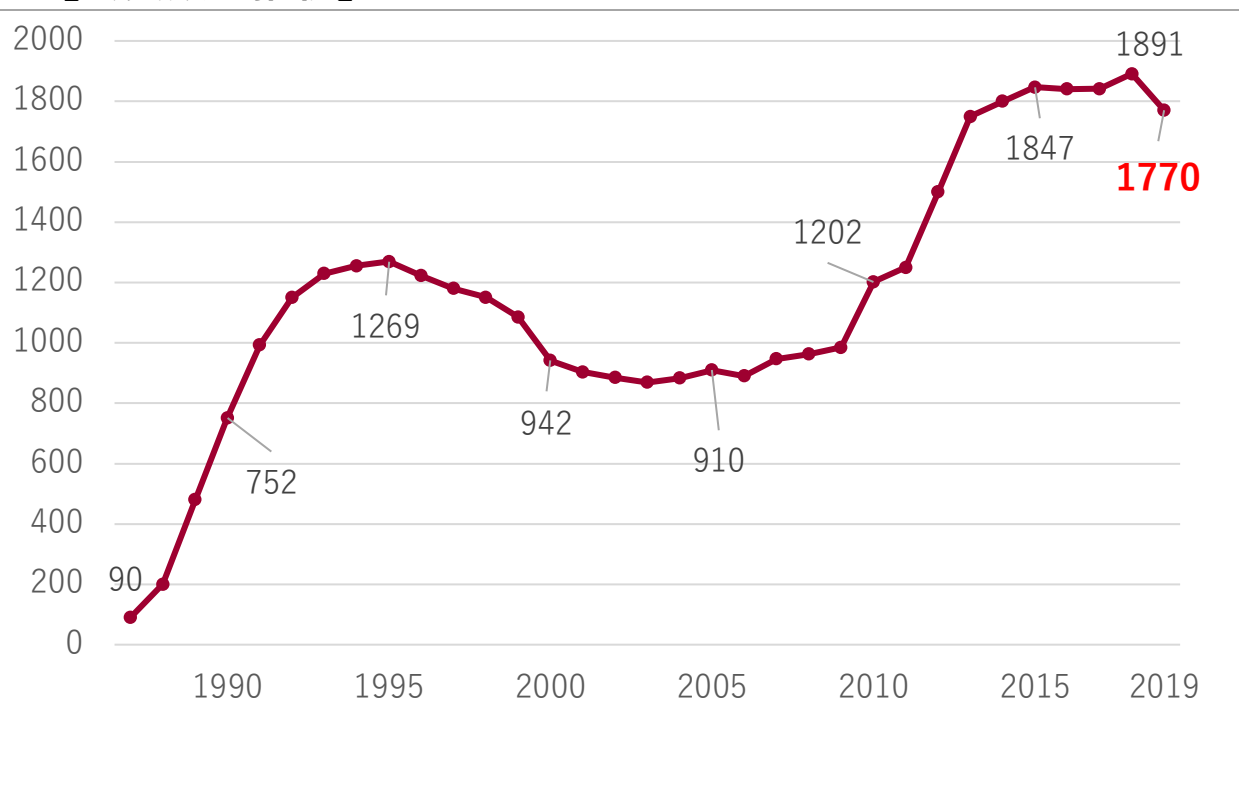
## ◆総会資料

- ・本資料 「2019年度定時社員総会資料」
- ・別紙 1 「貸借対照表」「正味財産増減計算書」「附属明細書」
- ・別紙 2 「収支予算書（正味財産増減計算書ベース）」
- ・別紙 3 「監査報告書」

## ◆会員数：1770名（対前年▲123名）

- ・ 2010年頃からの第2次トライアスロンブームにより順調に増加し、2015年頃から1800名程度で横ばい傾向。
- ・ 2019年度は▲123名の減に転じ、減少分のほとんどが一般会員の減によるもの。
- ・ 新型コロナウイルスにより多くの大会が中止となる中、会員数減少が加速化するリスクがあると認識。

【会員数の推移】



【会員内訳の変化（対前年度）】

| 会員区分   | 2018年度 | 2019年度 | 増減    |
|--------|--------|--------|-------|
| ジュニア会員 | 69名    | 65名    | ▲4名   |
| 高校生会員  | 18名    | 16名    | ▲2名   |
| 一般会員   | 1,708名 | 1587名  | ▲121名 |
| 審判会員   | 96名    | 102名   | +6名   |
| 計      | 1,891名 | 1,770名 | ▲123名 |



## ◆会員の活躍状況

国内外の大会で多くの選手が活躍中。今年度は特に国体およびジュニア選手権での活躍が顕著。

### 【エリート、パラ】

- ・第74回国民体育大会いきいき茨城ゆめ国体 : 潮田小波選手が優勝
- ・ASTCアジアパラトライアスロン選手権（キョンジュ） : 佐藤圭一選手が優勝、松居礼大選手が8位入賞

### 【ジュニア】

- ・日本U23選手権 仙台 : 松居智咲選手が2位
- ・日本U19選手権 仙台 : 平泉真心選手が3位
- ・日本U15選手権 : 林愛望選手が4位、津田彩乃選手が5位、和田侑磨選手が5位
- ・第2回全国高等学校選手権 京都 : 平泉真心選手と大谷友哉選手が優勝

### 【JTUEイジグループポイントランキング】

- ・スタンダードディスタンス : 6名（女子1名、男子5名）
- ・ロングディスタンス : 16名（女子9名、男子7名）

### 【2020東京オリンピック】

あいち強化指定選手に9名が日本代表・日本代表候補選手として認定



## ◆各事業における活動報告

### ●競技事業

- ・各大会とも大きな事故もなく無事に終了。西尾市トライアスロン協会様の尽力により新規キッズ大会が開催。  
主催大会：蒲郡オレンジ、アクアスロン小野浦、アクアスロンラグナシア、キッズ西尾一色（新規）  
協力大会：アイアンマンセントレア知多半島、伊良湖

### ●強化事業

- ・強化合宿、練習会を4回開催。5月合宿は東海ブロック合同形式とし競技力向上およびモチベーションアップに効果あり。
- ・国体直前には合同練習会を開催。
- ・ジュニア強化選手へのエントリー費補助（年間約16万円）も継続実施
- ・3月の認定記録会はコロナ影響により中止。

### ●技術（審判）

- ・2019年度は審判講習会の新規受講者が少なく、一部の既存審判員の負担大。審判要員の確保策が必要。
- ・OQE（オリンピック クオリフィケーション イベント）へは、公式審判員2名とFC（フィールドキャスト）11名が参加。

### ●普及事業

- ・年間ポイントランキング表彰は、コロナ影響により記録会が中止となったため、郵送で実施。
- ・2020年度JTU会員登録カードの郵送を中止。  
（∵大会受付での提示機会減少、マイページからのダウンロード可、郵送コスト削減）

## ◆決算報告

- ・**正味財産**は、法人化前の組織から継承した848万円に対して、**+75万円増の923万円**。
- ・年度決算としては、**経常収益750万円**に対して、**経常費用674万円**。

## 【正味財産の増減】

(円)

|      | 2018年度    | 2019年度     |
|------|-----------|------------|
| 資産   | 8,478,327 | 10,014,290 |
| 負債   | 0         | 781,200    |
| 正味財産 | 8,478,327 | 9,233,090  |

## 【経常収益・経常費用の概要】

|               |                                                                                 |                                       |                                                                   |      |
|---------------|---------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------|-------------------------------------------------------------------|------|
|               | (円)                                                                             |                                       |                                                                   |      |
|               | ①受取会費                                                                           | ②事業収益                                 | ③受取補助金                                                            | ④雑収益 |
| 経常収益<br>750万円 | 3,321,700                                                                       | 3,621,528                             | 748,620                                                           | 50   |
|               | ・ ATA年会費                                                                        | ・ 参加費収入（大会・記録会・合宿・審判講習会等）<br>・ 競技主管料等 | ・ 県スポーツ協会補助金                                                      |      |
|               | ①事業費                                                                            | ②管理費                                  |                                                                   |      |
| 経常費用<br>674万円 | 5,163,027                                                                       |                                       | 1,579,108                                                         |      |
|               | 目 的：大会開催、選手育成強化、審判体制強化、競技普及<br>主な使途：旅費交通費、施設利用料、国体関連費、コーチ謝金<br>ジュニアエントリー補助、消耗品等 |                                       | ・ 県スポーツ協会会費、JTU社員負担金<br>・ 事務経費（会議費、保険、通信費、IT管理費、消耗品費等）<br>・ 租税公課等 |      |

※詳細は別紙 1「貸借対照表」「正味財産増減計算書」「附属明細書」のとおり。

## ◆事業計画

### （1）新型コロナウイルス関連

- ・コロナ影響により多くの大会が中止となり、選手やスタッフの多くはモチベーションダウン維持が難しくなっており、長期化した場合には、競技力低下や競技人口減少のリスクが高まってくる。これらのリスクを最小限に抑制するための取り組みを実施することが2020年度の重要課題と認識。
- ・すべての事業活動において、JTU作成の運用ガイドラインを遵守する。

| 対象   | 想定されるリスク                                                                                          | 対応方針案                                                                                            |
|------|---------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 一般会員 | <input type="checkbox"/> 既存会員のフェードアウト引退<br><input type="checkbox"/> 新規会員の減                        | ➤ コロナ感染状況をふまえながら、何らかの <u>会員サービスに資する施策を検討</u> 。                                                   |
|      | <input type="checkbox"/> ATA年間ポイントランキング表彰の成否                                                      | ➤ 対象大会の多くが中止となったことをふまえ、 <u>今年度は実施見送り</u> 。                                                       |
| 強化選手 | <input type="checkbox"/> 競技力・モチベーションの低下                                                           | ➤ 10月開催予定の選手権に向けて、 <u>昨年度と同規模の活動（練習会・合宿等）維持に努める</u> 。                                            |
| 審判   | <input type="checkbox"/> 審判活動の機会減によるスキル低下やフェードアウト引退                                               | ➤ 強化練習会とタイアップしたスキル講習会の実施など、活動機会を創出することで要員確保およびスキル向上に努める。                                         |
| 協会   | <input type="checkbox"/> 会員数減や大会中止による収入の減<br>現時点（1400名）で頭打ちの場合=約▲110万円<br>競技主管料（昨年度約100万円）の減は見通せず | ➤ 今年度は厳しい収支が見込まれるが、会員サービス、強化育成、審判要員確保など、 <u>事業基盤の維持に必要な支出は継続実施</u> 。<br>➤ 管理間接にかかる支出については必要性を厳選。 |

### （2）継続・ルーティン案件

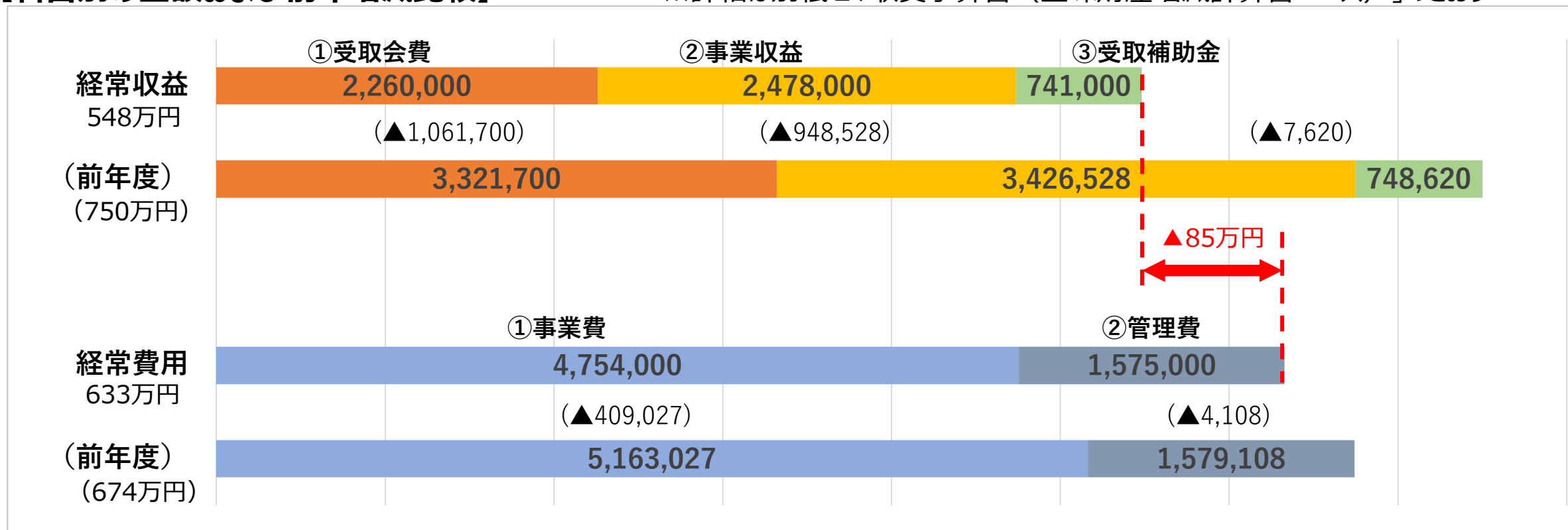
- ・2026年アジア競技大会の開催地が最終確定に至っていないため、実行委員会ははじめ関係機関との調整を進め、早期決定を目指す。

## ◆予算案

- ・経常収益については、会員数減少や大会中止による競技主管料の減などにより、548万円（対前年▲202万円）の見込み。
- ・事業費については、大会や表彰の中止による経費減はあるが、強化、技術、普及に関する取り組みは継続実施すること、会員サービスに資する施策を新規計上したことから、475万円（対前年▲41万円）の見込み。
- ・管理費については、ほぼ前年並みの158万円。
- ・上記より、単年度収支は▲85万円、正味財産は838万円となる見込み。

### 【科目別の金額および前年増減比較】

※詳細は別紙 2「収支予算書（正味財産増減計算書ベース）」のとお







## 【主要項目の増減説明】

(万円)

|      |             | 2020年度 | 2019年度 | 差額   | 主な増減理由                                                                            |
|------|-------------|--------|--------|------|-----------------------------------------------------------------------------------|
| 経常収益 | ①受取会費       | 226    | 332    | ▲106 | ・会員数を1400名と仮定して算定。<br>・入金時期と会計年度の期ずれにより、今年度は影響大。<br>（人数ベースでは▲20%だが、収入ベースでは▲30%程度） |
|      | ②事業収益－競技主管料 | 123    | 177    | ▲54  | ・大会中止（蒲郡、小野浦、ラグーナ、キッズ西尾）による減。                                                     |
|      | －大会参加料      | 30     | 85     | ▲55  | ・大会中止による参加料収入の減▲85<br>・会員サービスに資する新規イベントへの参加費＋30                                   |
| 経常費用 | ①事業費－消耗品費   | 67     | 45     | ＋22  | ・無線機購入＋15                                                                         |
|      | －委託費        | 0      | 35     | ▲35  | ・大会中止による経費（計測費）減▲35                                                               |
|      | －支払手数料      | 190    | 174    | ＋27  | ・大会中止による経費減▲42<br>・会員サービスに資する新規イベント費＋60                                           |
|      | ②管理費－事務費    | 56     | 47     | ＋10  | ・事務局パソコン購入＋10                                                                     |

以 上